

2020年度「若手研究者のためのエネルギー材料萌芽研究助成」 募集要領

金属材料研究所先端エネルギー材料理工共創研究センターでは、理学と工学とを融合した「理工共創」の研究を強力に推進することにより、スピン・イオン・ホール・フォトン等の多様なキャリアを原子レベルで制御した先端エネルギー材料の創成を目指しています。

以下の要領で金属材料研究所の若手研究者が協働し異分野の融合によって先端的なエネルギー材料創成に向けた研究提案を募集します。

1. 目的

「若手研究者のためのエネルギー材料萌芽研究助成（以下、本助成という。）」は、東北大学金属材料研究所（以下、本所と記す。）の若手研究者が実施する、先端的なエネルギー材料創成に向けた萌芽的研究課題の取組への支援を目的としています。

2. 募集研究課題

研究課題は、理工共創に基づくエネルギー材料に関連する研究であること。

3. 申請資格

- 研究代表者は申請時に38歳以下であるE-IMRの専任・兼任教員以外の本所の准教授・講師または助教。
- 本所の複数研究室かつ2名以上の研究者（教授を除く。兼任・博士研究員等を含む。）で研究チームを組む。

※2020年4月1日に在職予定の研究者をチームに含めることが可能です。

※なお、上記資格を満たせば研究チームに他部局の研究者を含めることが可能です。

4. 支援概要

- 研究期間：採択日～2021年3月31日
※予算の翌年度への繰り越しはできません。
- 予算額（予定）：1課題あたり1,200,000円を上限とします。（研究代表者へ配分）

5. 申請方法

応募を希望される方は新規・延長申請書（様式1）に必要事項を日本語または英語で記載の上、研究代表者から電子データで次の宛先まで送付願います。受付の連絡を都度いたしますので、申し込み締め切り日より1週間を過ぎても連絡がない場合には、応募宛先までお問い合わせください。

（提出先）

E-mail：e-imr(at)imr.tohoku.ac.jp（E-IMR事務局）

件名：エネルギー材料萌芽研究助成申請書提出（研究室/センター名・氏名）

提出期限：2020年5月1日 17:00（必着）

6. 採択予定件数

- 1～2件程度

7. 審査

- 申請された研究課題を審査するため、E-IMRに審査委員会を置く。
- 審査委員会は、E-IMRセンター長が指名する本所教授6名(特任を含む)で構成。
- 審査委員会では、応募書類に基づき書類審査を実施する。

8. 採択後

(1) E-IMRでの位置づけ

採択された研究チームは、E-IMRの公募型研究部として位置づけられます。

(2) 進捗状況と成果報告

採択された研究チームは、E-IMR主催会議等において研究概要の発表をしていただきます。また、「9. スケジュール」に定める期日までに成果報告書(様式2)をE-IMRに提出していただきます。なお、翌年度に金研講演会(春季)においてポスター発表を行っていただきます。また、E-IMRワークショップ等において研究発表を行っていただく場合もあります。

(3) 延長申請

採択された研究課題研究期間は、2021年3月31日までの約1年間です。ただし、延長申請書(様式1)を提出いただき、審査の上、1年間の延長(1回のみ)が可能になる場合があります。

9. スケジュール

[2020年]

- 2月25日(火) 2020年度募集の開始
- 5月1日(金) 新規・延長申請書の提出締切(17:00必着)
- 5月中旬 審査委員会による書類審査
- (5月下旬 面接審査:実施の場合、日程を別途通知します。)
- 5月29日(金) までに、採択研究チームを決定。
- 決定日翌週 研究の開始
- 7月以降 E-IMR主催会議等にて研究概要・進捗状況報告

[2021年]

- 4月30日(金) 成果報告書(様式2)の提出締切(17:00必着)
- 5月 金研講演会(春季)におけるポスター発表
- 12月中旬 E-IMRワークショップにて研究発表(場合による)

10. 成果報告書の提出方法

成果報告書(様式2)を作成し、「9. スケジュール」に示した日時までに、電子媒体でE-IMR事務局(e-imr(at)imr.tohoku.ac.jp)に提出してください。

11. 補足

本助成では、延長申請と審査を経ることにより、最大2年間の研究が可能になります。ただし、2021年度予算案によりましては、本助成制度に大幅な変更が生じ得る場合もございます。その点は予めご了承ください。

(問い合わせ先)

E-IMR事務局

内線:2072

E-mail:e-imr(at)imr.tohoku.ac.jp

※(at)を@に変更ください